

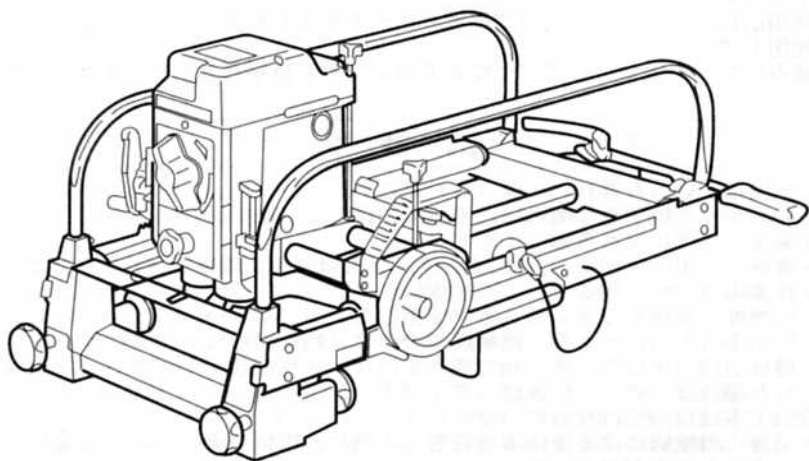
RYOBI®

大入レ加工機

DR-250N DR-360N

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みください。
また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。



もくじ

- ・安全上のご注意 1～3
- ・各部の名称 4
- ・仕様・通常付属品 4
- ・別販売品・用途 4
- ・ビットの種類 5
- ・操作方法 5～12
- ・保守と点検 13

このたびは、リョービ大入れ加工機をお買上げいただきありがとうございます。
安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前にこの安全に関する注意事項、
及び取扱説明書を最後までよくお読みください。
使用上の注意事項、本機的能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全
にご使用くださるようお願いいたします。

注意文「△警告」、「△注意」の意味について

ご使用上の注意事項は「△警告」と「△注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

△警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

△注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

「△警告」・「△注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンス等に関する重要な注意事項は「(注)」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

■安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

△ 警 告

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・機械は、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
 - ・作業場は十分に明るくしてください。
 - ・可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
 - ・転倒事故を防止する為、機械周辺の床には物を置かないでください。
 - ・機械周辺の床は常に水や油で濡れていないようにしてください。水や油をこぼした場合は、直ちに拭き取ってください。
3. 電気工事は自分で行なわないでください。
 - ・電源の誤配線による重傷事故を避ける為に、電気工事については電気工事士の免許のある方が必ず行なってください。
4. 子供を近づけないでください。
 - ・作業員以外、作業場へ近づけないでください。
5. 無理して使用せず作業に合った機械を使用してください。
 - ・安全に能率よく作業するために、指定された用途以外に使用せず、機械の能力に合った速さで作業してください。
6. きちんとした服装で作業してください。
 - ・だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、回転部に巻込まれる恐れがありますので着用しないでください。
 - ・軍手など巻込まれる恐れのある手袋は刃物の交換の際に使用する以外は絶対に着用しないでください。
 - ・屋外での作業の場合には、滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - ・長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。

7. 保護めがねを使用してください。
 - ・作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
8. コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・コードを引張ってコンセントから抜かないでください。
 - ・コードを熱、油、角のところがった所に近づけないでください。
9. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
10. 機械は、注意深く手入れをしてください。
 - ・安全に能率よく作業をしていただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。
 - ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースがつかないようにしてください。
 - ・機械の可動部分との接触による重傷事故を避ける為に、部品交換の際には機械のスイッチを切り、電源プラグを外してください。
11. 次の場合は、機械のスイッチを切り、かつプラグを電源から抜いてください。
 - ・使用しない、または保守、点検、修理をする場合。
 - ・刃物、砥石、ビット等の付属品を交換する場合。
 - ・清掃する場合。
 - ・機械の故障、異常に対処する場合。
 - ・その他危険が予想される場合。
12. 調節キーやレンチ等は、必ず取外してください。
 - ・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取外してあることを確認してください。
13. 不意な始動は避けてください。
 - ・プラグを電源に接続する前に、機械のスイッチが切れていることを確かめてください。
14. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・機械を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分注意して慎重に作業してください。
 - ・疲れている場合は、使用しないでください。
15. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・使用前に、保護カバーや回転軸、歯車、プーリー、ベルトなどに損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・損傷した保護カバー、回転軸、歯車、プーリー、ベルトなどの部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。スイッチが故障した場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所で修理を行ってください。スイッチで始動および停止操作の出来ない機械は使用しないでください。
16. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・本取扱説明書およびリョービパワーツールカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがありますので使用しないでください。

△ 警告

17. 機械の修理は、専門店に依頼してください。
 - ・本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
 - ・修理は、必ずお買上げの販売店またはリョービ販売営業所にお申し付けください。修理の知識や技術の無い方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県等の条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

大入れ加工機ご使用に際して

先に電動工具としての共通の注意事項を述べましたが、大入れ加工機をご使用の際には、さらにつきに述べる注意事項を守ってください。

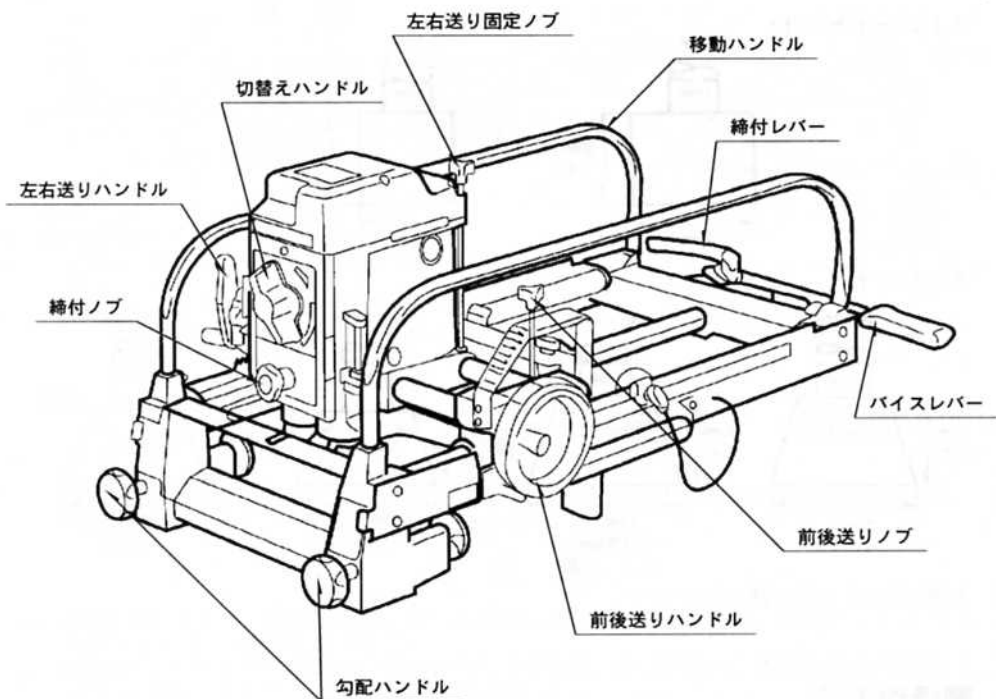
△ 警告

1. 電圧は銘板の表示と一致しているか必ず確認してください。
 - ・100V用のモーターを200Vで使用されますとモーターを焼損するのみでなく、高速回転となり危険です。逆に低い電圧で使用しますと力不足となります。
2. 運転中は、刃物、及び可動部には手や顔を近づけないでください。また、手を置く位置にも気を付けてください。
 - ・けがの原因になります。
3. ビット交換の際は、必ずスイッチを切りプラグを電源から外してください。
 - ・不意な作動による、けがの原因になります。
4. 被削材に釘などの異物がないことを確認してください。異物があれば刃物を破損することがあり、けがの原因になります。
5. 使用中は、材料をバイスで確実に締付けてください。
 - ・確実に締付けていないと、機体がゆれ刃物破損などによるけがの原因になります。
6. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買上げ販売店、またはリョービ販売営業所に点検、修理を依頼してください。
 - ・そのまま使用していると、けがの原因になります。
7. 製品を誤って落したり、ぶつけた場合は、刃物類（ビット等）や機体などに破損や亀裂、変形がないことを確認してください。破損や亀裂、変形がある場合は使用しないでください。
 - ・けがの原因になります。

△ 注意

1. 刃物の取付けは、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
 - ・確実にないし外れたりし、けがの原因になります。
2. 運転中、コードが刃物に触れないようにご注意ください。
 - ・感電等、事故の原因になります。
3. 使用中は、軍手など巻込まれる恐れのある手袋を着用しないでください。
 - ・回転部に巻込まれ、けがの原因になります。
4. 刃物にヒビやロウ付け箇所の異常がないか確認してください。
 - ・異常がある刃物をそのまま使用しますとけがの原因になります。

■各部の名称



■仕様

| | | |
|--------|-------------------|--------------------|
| モデル | DR-250N | DR-360N |
| 電源 | 単相・交流100V 50/60Hz | |
| 電流 | 15A | |
| 無負荷回転数 | 11,000R.P.M. | |
| 消費電力 | 1,450W | |
| 加工能力 | 幅 | 194mm |
| | 前後 | 250mm 360mm |
| | 切込深さ | ストレート 30mm、アリ 60mm |
| バイス能力 | 65~606mm | 80~720mm |
| すべり勾配 | 0~3分/1尺 | |
| 重量 | 21kg | 23kg |

■通常付属品

- 専用スパナ(21mm)、片口スパナ(27mm)

■別販売品

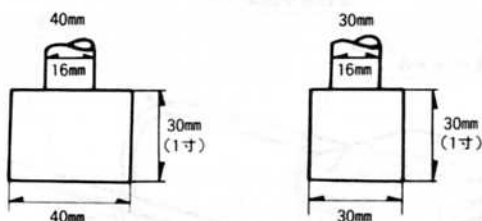
- 集じん機用フード
- ストレートビット 30mm、40mm
45×24mm
- アリビット 45×30mm
48×24mm
48×30mm

■用途

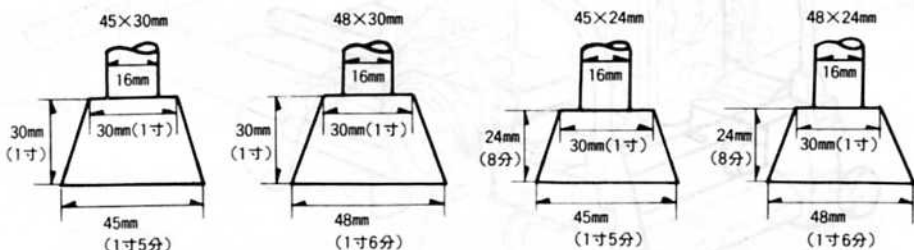
- 大入れ加工、アリ加工、大入れアリ掛け加工

■ビットの種類

ストレートビット



アリビット

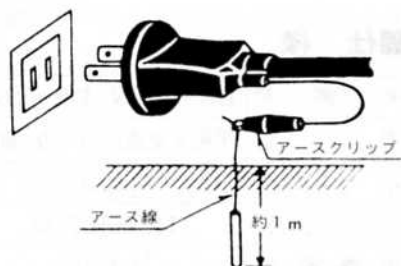


※純正ビットをご使用ください。

■操作方法

●アースについて

- 感電事故防止の為、ご使用に先だち必ず接地（アース）してください。接地する場合はコード端にあるアースクリップを使用してください。
- アースクリップやアース線に異常のないことを確認してください。テスターや絶縁抵抗計でアースクリップと機械の金属部（外部）間の導通を確認してください。
- アース棒やアース板を地中に埋込み、アース線を接続する電気工事は電気工事士の資格が必要です。ので最寄りの電気工事店にご相談ください。

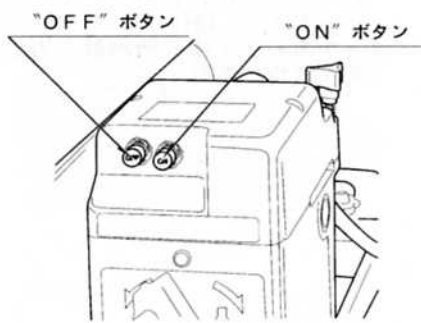


●スイッチ

△ 警告

・電圧は銘板の表示と一致しているか必ず確認してください。100V用のモーターを200Vで使用されますとモーターが焼損するのみでなく、高速回転となり危険です。逆に低い電圧で使用しますと力不足となります。

- スイッチはONで入りOFFで切れます。
- 本機はスイッチを切るとすばやくビットが停止するブレーキ付機構となっております。
- (注) バイスの締付け及び、ビットが加工材に触れていない事を確認した後、スイッチを入れてください。



●ビットの交換

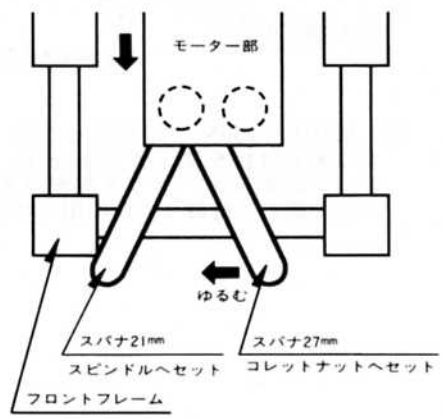
△ 警告

・ビット交換の際は、必ずスイッチを切りプラグを電源から抜いておいてください。不意な作動による、けがの原因になります。

△ 注意

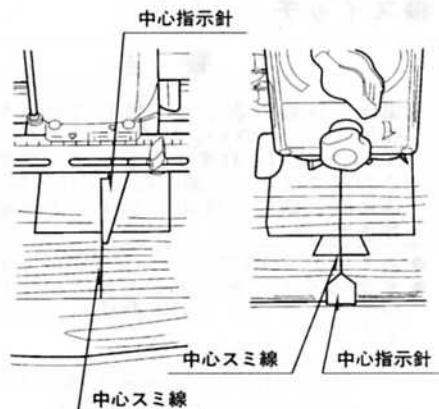
- ・刃物の取付けは、取扱説明書に従って確実に取付けてください。確実にないと外れたりし、けがの原因になります。
- ・刃物にヒビやロウ付け箇所の異常がないか確認してください。異常がある刃物をそのまま使用しますと、けがの原因になります。

- ①モーター部を手前(図矢印④方向)に寄せて固定します。本体を水平に設置し、正面から作業を行ってください。
- ②交換する側のビットをおろしてください。
- ③専用スパナ21mmでスピンドルをロックし、片口スパナ27mmでコレットナットにさし込んだ後、ゆるみ方向へ回してゆるめます。
(注) 手の位置についても十分注意してください。
- ④ビットを抜き、新品もしくは研磨済のビットをさし込み、片口スパナでコレットナットをしっかり締付けます。ビットはスピンドルの奥に当たるまでさし込んでください。
(注) リョービ純正のビットをご使用ください。ビットをスピンドルにいったいまでさし込んだ位置で切込深さ目盛を合わせてあります。
(注) ナット締付け時はハンマー等で衝撃を加えず、手で締付けてください。
- ⑤アリビット、ストレートビットとも、同じ要領で交換します。
(注) ビットは必ず、向かって左側にストレートビット、右側にアリビットを取付けてください。

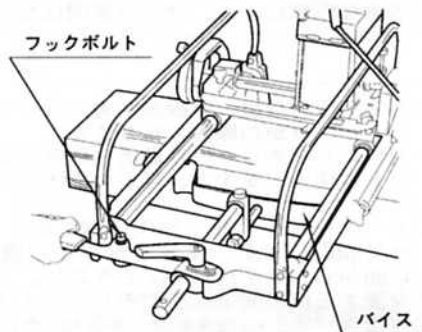
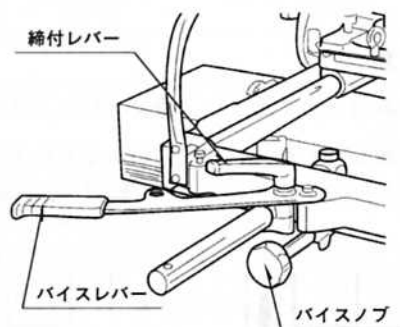


●木材の締付け

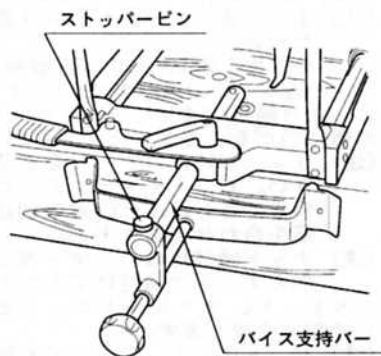
- ① バイス部の締付けレバーをゆるめ、加工材の大きさに合わせてバイスを前後にスライドさせ、締付けレバーを締付けます。
- ② 2か所の加工中心指示針と加工中心スミ線を合わせます。



- ③ バイスノブを回して加工材とバイスのすきまを2～3mm程度に調節しバイスレバーを手前に引き、フックボルトに引っ掛けて固定します。

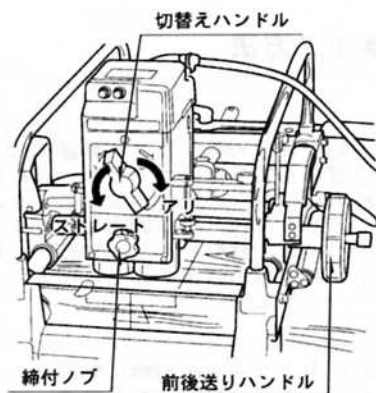


- ④ 1尺(DR-250N)、1尺4寸(DR-360N)をこえる材料を加工する場合は、ストッパーピンを抜き、バイス部をバイス支持バーの後方に付替えてご使用ください。



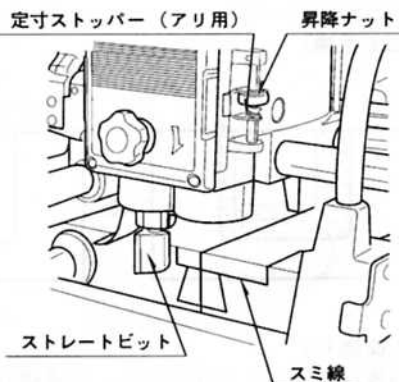
●アリ・ストレートビットの切替えと切込深さ調節

- ①前後送りハンドルで本体を一番手前にもってきます。
- ②締付ノブをゆるめ、切替えハンドルを回せばアリ↔ストレートビットの切替え、切込深さ調節ができます。切替えハンドルを右に回せばアリビットが下降し、ストレートビットは上がります。左に回せば逆にストレートビットが下降し、アリビットが上がります。スミ線とビットを合わせ締付ノブを締付けてください。



(定寸ストッパーの使用)

- 切込深さを合わせ昇降ナットを右にいっぱいまで回してセットしてください。本体左側にストレートビット、右側にアリビットのストッパーがあります。



●加工方法

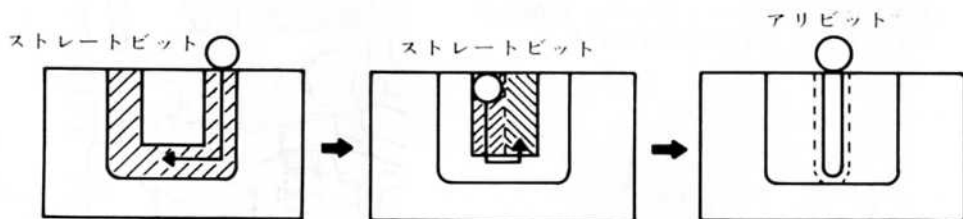
⚠ 警告

- ・運転中は、刃物、及び可動部には手や顔を近づけないでください。また、手を置く位置にも気を付けてください。けがの原因になります。
- ・被削材に釘など異物がないことを確認してください。異物があれば刃物を破損することがあり、けがの原因になります。
- ・使用中は、材料をバイスで確実に締付けてください。確実に締付けてないと、機体がゆれ刃物を破損することがあり、けがの原因になります。

⚠ 注意

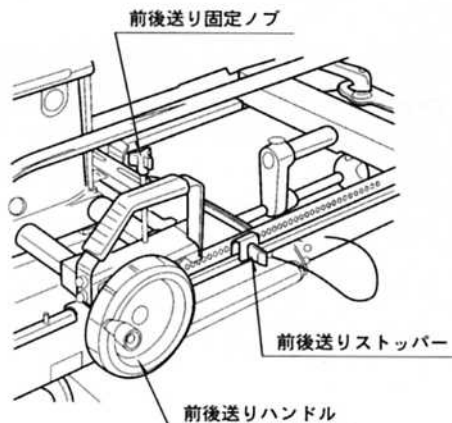
- ・運転中、コードが刃物に触れないよう注意してください。コードを切断する恐れがあり、感電の原因となります。
- ・使用中、軍手など巻込まれる恐れのある手袋を着用しないでください。回転部に巻込まれ、けがの原因になります。

(加工手順)

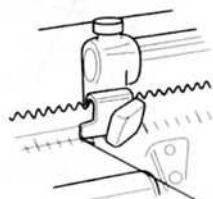


(前後送り)

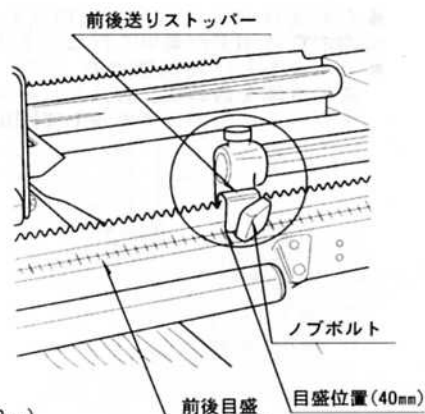
- 前後送り固定ノブをゆるめ、前後送りハンドルを回転させますと、ビットが前後に移動します。



- 前後送りストッパーを利用されますと、定寸加工が素早く行なえます。
- ストッパーの手前をサイドレール外側の目盛の加工寸法に合わせ固定します。この場合の目盛は40mmストレートビットの加工寸法です。(30mmのストレートビットの場合は、ノブボルトをはずし、ストッパーを逆向きに付替えてください。)



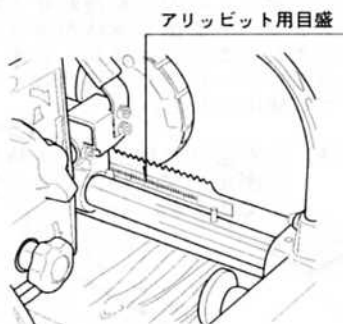
目盛位置 (30mm)



- アリビットの加工寸法はサイドレール内側の目盛を目安にしてください。この場合目盛はビット中心位置を示しています。

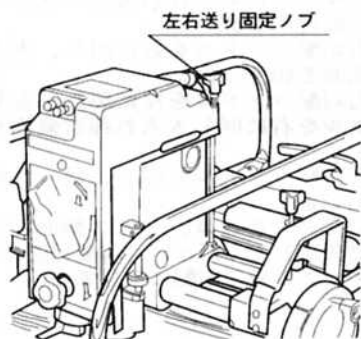
(注) 前後送りの加工をするときは、左右送り固定ノブを締付けておいてください。

(注) アリ加工時、送りスピードが早すぎるとベルトのスリップ、モーターのロック等が発生しますので、急な送りは避け適度な送り速度で加工してください。

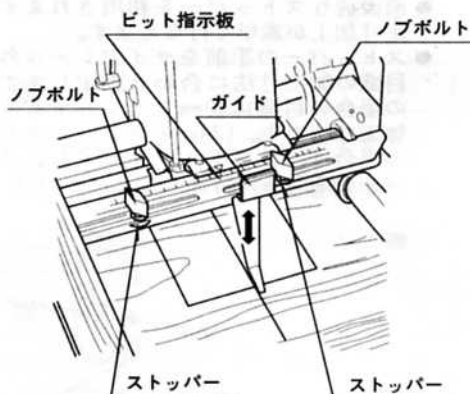


(左右送り)

- 左右送り固定ノブをゆるめ、左右送りハンドルを回転させますと、ビットが左右に移動します。ビット指針板の(▲)印の指示線はストレートビットの加工位置を示し、(▲)印の指示線はアリビットの中心を示しています。

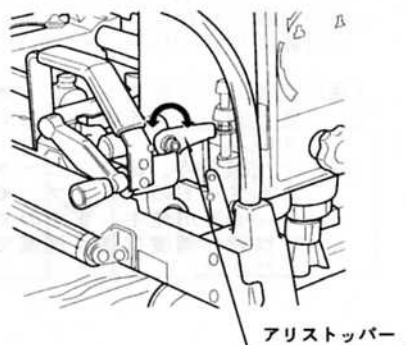


- 左右送りストッパーを利用されますと左右の定寸加工が素早く行なえます。
- ガイドを上げた状態で右（左）の加工位置に本体を合わせ、右（左）のストッパーをガイドに当てノブボルトで固定します。



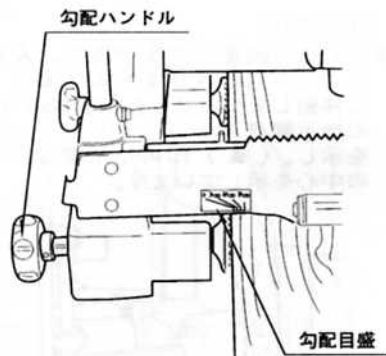
- アリビットの中心を合わせる時は、アリストッパーを倒し本体がアリストッパーに当たるまで左に移動します。左右送りストッパーに当たる場合はガイドを下げてご使用ください。

(注) 左右送りの加工をする時は、前後送り固定ノブを締付けると精度良く加工できます。



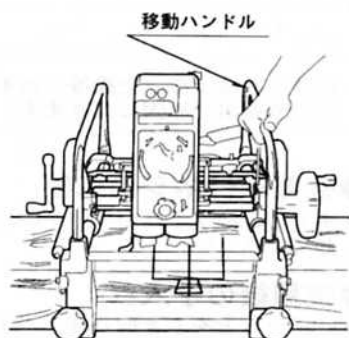
● すべり勾配

- バイスの左右に付いています。勾配ハンドルを左にいっぱい戻した状態で加工材を締付けます。
- 右勾配ハンドルを右に回し、大入れ部左側面を加工します。
- 右勾配ハンドルを左に戻し、左勾配ハンドルを右に回し大入れ部右側面を加工します。
- 左勾配ハンドルを戻し、残った部分を加工します。
- 勾配の大きさは、バイス側面の勾配目盛で確認してください。勾配目盛の1/100は1尺で1分の勾配になります。



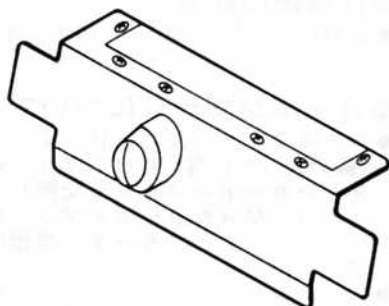
●本機の移動

- 加工が完了しましたら、バイスをゆるめ片方の移動ハンドルを少し持ち上げ、移動ローラーを利用して本機を移動してください。



●集じん機用フード（別販売品）

- 切屑排出口に集じん機用フード及び、木工用集じん機を取付けてご使用になりますと、切屑が飛び散らず清潔な作業ができます。



■保守と点検

△ 警告

- 保守、点検、部品交換等のお手入れの前にプラグを必ず電源から抜いてください。けがや感電の原因になります。

●各部取付ネジの点検

- ネジなどのゆるみがないか確認してください。もし、ゆるみがある場合は締めなおしてください。

●使用後の手入れ

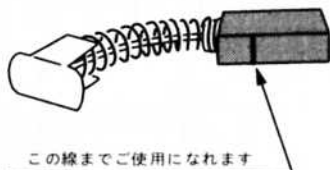
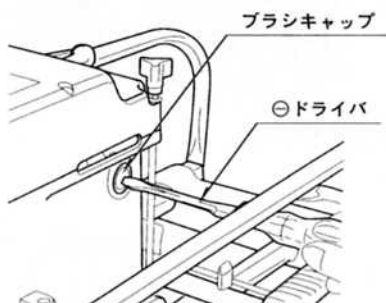
- 油汚れなどをふき取り使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体を拭いてください。
- ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また水洗いは絶対にしないでください。
- 作業の前後にガイドバー、送りネジなど機械の摺動部に注油してください。

●作業後の保管

- 高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子さまの手の届く範囲や落下の恐れのあるところはさけてください。

●カーボンブラシについて

- カーボンブラシは消耗品です。全長の $\frac{1}{3}$ （線の入った位置）程度に摩耗したら、新しいカーボンブラシと交換してください。短くなったカーボンブラシをそのまま使用すると、モーター焼損の原因となる場合があります。
- カーボンブラシの交換はブラシキャップを⊖ドライバーで取外せば簡単に行なえます。
- カーボンブラシは2個1セットです。交換される時は指定のカーボンブラシを使用し、2個とも交換してください。



●修理について

- 本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買上げの販売店にご用命ください。その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問などご遠慮なくお問い合わせください。

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、ご遠慮なくお買上げの販売店、またはリョービ販売営業所にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観等を変更することがあります。

RYOBI

発売元

リョービ販売株式会社

製造元

リョービ株式会社